



野々下 昌文 議員

関である。なぜこのような重要なことが議会へ報告がなかつたのか問う。

宿毛市陸上競技場について

問 令和3年6月定例会において、宿毛市陸上競技場は、県西部のスポーツ振興を図るうえで重要な施設であるが、地盤沈下等を改善するには、多額の修繕費がかかることが想定され、本市の財政状況では、現状の改善は非常に困難な状況であると答弁をさせていただいた。既にこの時点での市単独で改修を行い3種公認を継続させるのは、非常に困難であるという認識を持つていた。

問 地盤沈下の原因について

答 宿毛市総合運動公園の造成時の図面、施行前の地形図において、陸上競技場の北側と南側は盛り土で造成していることが確認でき、沈下の見られる範囲とおおむね重なるため、盛り土の経年沈下が原因ではないかと推測している。

問 宿毛市陸上競技場の公認が失効する問題について、宿毛市として3種公認を諦めることを決定したのはいつだったのか問う。

答 令和3年6月定例会において答弁をさせていただいた後、その後の経過について、宿毛市議会へ説明をできていなかったことに対しても、おわびを申し上げる。現在も幡多郡に3種公認競技場を残していく方法はないか、幡多5市町村及び高知県との協議を行つており、今後は陸上競技場の公認に係る経過については、その都度委員会等で市議会のほうでも報告をさせていただく。

問 議会は市民を代表するチエック機関であり議決機

問題は、市民にとって大変関心が大きい。県の対応や宿毛市の今後の取り組みについて

問う。

答 昨年11月、県庁にて幡多5市町村の首長に集まつていただき協議を行つた結果、幡多郡に3種公認競技場は必要ということで意見統一が行われた。

答 3月の高知県議会では、浜田知事は、「宿毛市陸上競技場は県西部唯一の公認競技場として、大きな役割を果たしている。公認失効となると競技者やその家族、関係者への負担は相当大きい。宿毛市陸上競技場の改修費用は高額であり、改修したとしても、地盤沈下が止まるとは限らない」という問題もお聞きしている。

問 県土木部へ土佐西南大規模公園の再整備についての要望もいただいており、県として、総合的に考え、宿毛市総合運動公園の改修か、それとも土佐西南大規模公園の再整備か。まず県として、来年度早い時期に方針を示した上で、幡多6市町村と協議して合意形成を図りたい」と答弁をされた。県の方針決定を待つている状況である。

宿毛市自転車を活用したまちづくり計画について



山戸 寛 議員



テナバイク4台の貸出管理や付随事務、保守点検、修繕等となつてている。

問 委託料の額はどのような基準によつて算定されているのか。

答 貸出業務に係る事務費、利用者のための障害保険料、自転車の保管料、修繕料、その他消耗品費等を積算したものとなつてている。

問 令和3年度から登場したレンタサイクリングセンティブ事業委託料の内容と委託先について問う。

答 自転車の利用率の向上はもとより、市内の観光施設や飲食店への誘客促進を目的として、レンタサイクル利用者へ、市内飲食店等で使用できる500円分のクーポン券を配布するもので、委託先は観光協会となつてている。

問 レンタサイクルの事業について、観光協会に対してもナサイクル運営管理委託料として毎年予算の計上が行われているが、その業務の内容・範囲について問う。

答 市が所有するロードバイク6台、電動アシストマウン

答 更に令和4年度にはレンタサイクル施設整備補助金として581万7千円が計上されている。この補助金の内容と支給先について問う。